

【2008年度春季総会議事録】

日 時：2008年9月12日（金）16：00～17：10

場 所：岡山理科大学・理大ホール

議事に先立ち出席者の確認が行われた。会場参加は169名、出席者のうちで事前投票をしたものは、事前投票の方を無効とした。有効出席者総数は532名で、定足数（正会員総数1,696名の5分の1＝340名）を満たしていることを確認した。

定款に従い議長は土佐理事長がつとめ、次に署名人として吉田道利氏、金光 理氏が選出された。

議事の経過および結果

1. 高田理事が資料1に基づき新役員（理事・監事）の選任について説明を行った（第1号議案）後、質疑応答が行われた。
2. 高田理事が資料2に基づき選挙管理委員の承認について説明を行った（第2号議案）後、質疑応答が行われた。
3. 高田理事が資料3に基づき2009年度事業計画案の説明を行った（第3号議案）後、質疑応答が行われた。
4. 田村理事が資料4に基づき2009年度収支予算案の説明を行った（第4号議案）後、質疑応答が行われた。
5. 第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案は各々賛成多数で承認された。

報告事項等

1. 高田理事が資料5に基づいて2009～2010年度の各委員会委員について説明を行った。委員の中に準会員が含まれていることについての理由を問う質問があり、前委員会より他に代え難い方なので認めた旨、回答された。
2. 洞口俊博氏が学会創立百周年・世界天文年を記念して天文学会が共催する巡回展について説明を行った。2009年5月から東京、仙台、名古屋、大阪を巡回すること、展示の内容や準備状況について説明された。
3. 海部宣男氏より日本学術会議に関連した最近の活動について報告が行われた。10月1日でメンバーの改選が行われたこと、その任期は6年であること、現在も天文学に深い関わりを持つ事項が多く議論されていること、今後の活動の方向性などについて説明が行われた。
4. 井上一氏より、今年制定された宇宙基本法の下での宇宙科学について、現状の議論の流れの説明と、今後天文学会としてどのようにこの件に関わっていくべきかを考える必要性についての提起が行われた。宇宙科学を推進していく立場から、天文学会として訴えるべき事について至急議論し、行政や社会に向けてアピールを出すことを、理事会が中心になって行うこともあわせて報告された。

2008年10月3日

議 長 土佐 誠

署名人 吉田 道利

署名人 金光 理